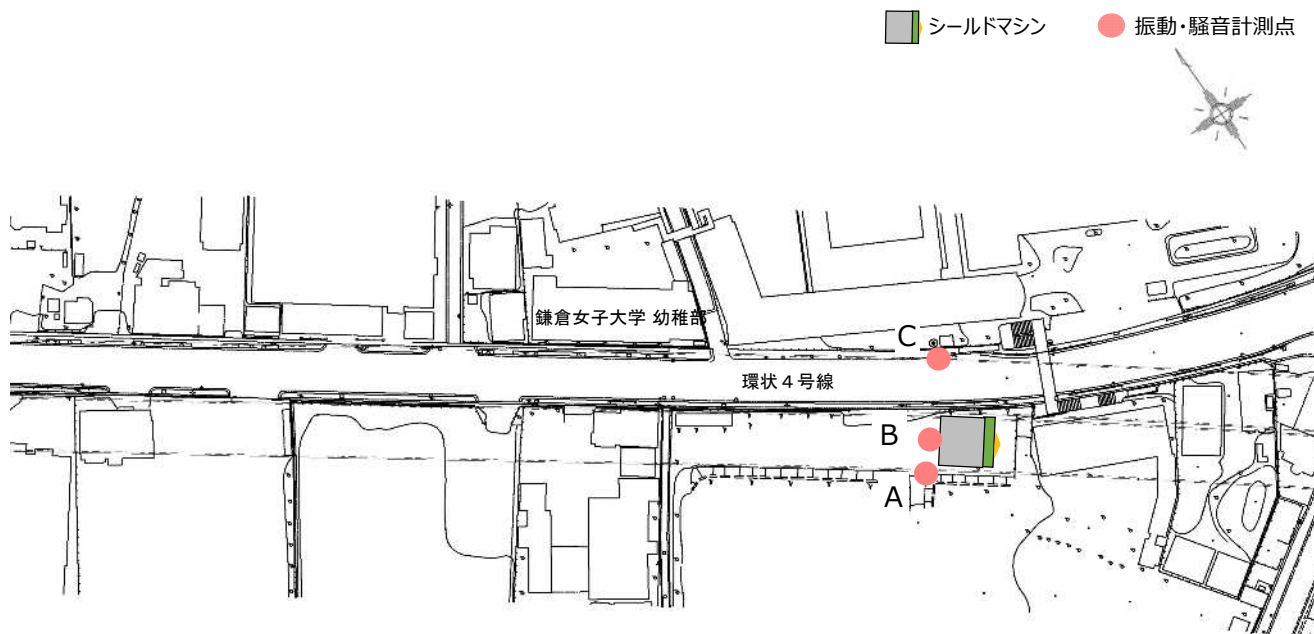


横浜環状南線 公田笠間トンネル工事 振動・騒音計測結果のお知らせ

【シールドマシン位置図（2月15日時点）】



【2月15日（木） 08:00～翌3:30 振動・騒音計測結果】

	A（南側）			B（直上）			C（北側）		
	停止中 最大	掘進中 最大(昼)	掘進中 最大(夜)	停止中 最大	掘進中 最大(昼)	掘進中 最大(夜)	停止中 最大	掘進中 最大(昼)	掘進中 最大(夜)
振動レベル L <sub>10</sub> (dB)	39	36	32	57	57	46	53	52	40
騒音レベル L <sub>A5</sub> (dB)	63	64	61	65	65	63	79	79	76
低周波レベル L <sub>50</sub> (dB)				79	78	73			
低周波レベル L <sub>G5</sub> (dB)				83	82	78			

\* 振動レベル、騒音レベル、低周波レベルの測定はシールドマシン通過時にその直上付近で実施しています

計測点はシールドマシン中心および影響範囲端部を基本とし、事業用地や公道などの計測可能な点で実施しています

\* 上表は、特異値（例：大型車両通過に伴う振動、緊急車両サイレンなど）を除外した数値を示しています

【振動レベル L<sub>10</sub>】 振動レベルをある時間測定したとき、全測定値の大きい方から 10%目の値を L<sub>10</sub>と表します

【騒音レベル L<sub>A5</sub>】 騒音レベルをある時間測定したとき、全測定値の大きい方から 5%目の値を L<sub>A5</sub>と表します

【低周波レベル L<sub>50</sub>】 1～80Hz の周波数範囲内をある時間測定したとき、全測定値の中央値を L<sub>50</sub>と表します

【低周波レベル L<sub>G5</sub>】 1～20Hz の周波数範囲内をある時間測定したとき、全測定値の大きい方から 5%目の値を L<sub>G5</sub>と表します